

通勤手当の非課税枠拡大！年末調整で還付

令和 7 年 11 月 20 日より、**自動車や自転車通勤者に支給する通勤手当の非課税限度額**が引き上げられました。今回の改正の最大のポイントは、「**令和 7 年 4 月 1 日に遡って適用される**」という点です。

I いくら増える？新旧限度額の比較

対象となるのは、**マイカー・自転車などの「交通用具」を使用して通勤している方で、片道の通勤距離が 10km 以上の方**です。電車・バス通勤の方、片道 10km 未満の方や、既に支払われた通勤手当が改正前の非課税限度額以下である人については今回の改正による影響はありません。

片道の通勤距離	【改正前】非課税限度額	【改正後】非課税限度額	差額
10km 以上 15km 未満	7,100 円	7,300 円	+200 円
15km 以上 25km 未満	12,900 円	13,500 円	+600 円
25km 以上 35km 未満	18,700 円	19,700 円	+1,000 円
35km 以上 45km 未満	24,400 円	25,900 円	+1,500 円
45km 以上 55km 未満	28,000 円	32,300 円	+4,300 円
55km 以上	31,600 円	38,700 円	+7,100 円

II 「4 月以降に支払われるべき」とは？

今回の改正は「令和 7 年 4 月 1 日以後に支払われるべき通勤手当」が対象です。少しややこしいですが、「**支給日が 4 月 1 日以降かどうか**」で判定します。

対象になる(新限度額)	4月10日に支給した「3月分通勤手当」
対象にならない(旧限度額)	3月25日に支給した「4月分通勤手当」
対象にならない(旧限度額)	未払いだった「2月分通勤手当」を4月10日に支給した場合

III 経理・総務担当者様へのお願い(年末調整での対応)

すでに 4 月以降に「旧限度額」で課税してしまった分については、**今年の年末調整で精算を行います。** ※**過去の給与計算をやり直す必要はありません。**

【具体的な手順】

- ① 対象者の抽出: **片道 10km 以上のマイカー通勤者**、かつ **非課税限度額を超えて通勤手当を支給されていた従業員**をリストアップします。
- ② 差額の計算: 「改正により新たに非課税となった金額 × 4 月以降の支給回数」を計算します。
- ③ 源泉徴収簿での調整: 年末調整の際、年間の給料・手当等の総額から、**上記で計算した金額**をマイナスして年税額を計算します。

※源泉徴収簿の余白に、上記の計算過程や、新たに非課税となった差額を「**非課税通勤手当 ○○円 × △回 = ◎◎円**」と**メモ**しておくで確実です。

IV 今すぐできる Next Step

まずは、社内に「**片道 10km 以上**」の**マイカー通勤者**かつ **非課税限度額を超えて通勤手当を支給されていた従業員が何名いるか**をご確認ください。対象者がいる場合は、今年の年末調整で還付が発生しますので、給与計算ソフトの対応状況(アップデート等)を確認するか、担当者までご相談ください。